

令和3年6月8日

関係協力施設 院長 殿

国立大学法人山口大学
医学部附属医学教育センター長
白澤 文吾

地域医療実習を行った医学生のディプロマ・ポリシー（DP/卒業時の学修成果目標）
修得状況について（アンケート）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、山口大学医学部医学科は、別紙1のとおり、平成29年度にディプロマ・ポリシー（DP/卒業時の学修成果目標）を改めました。所定の期間在学し、必要単位を修得した上で、ディプロマ・ポリシーで定めた知識・能力を身に付け、最終試験に合格した学生に「学士（医学）」の学位を授与しております。また、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材養成のため、特色あるカリキュラムを編成しております。

このたび、貴院で実習を行った医学科6年生における、実習時点でのディプロマ・ポリシーで定めた知識・技能・態度等の到達度を調査し、今後の医学科カリキュラムの改善に活用したいと考えております。

つきましては、下記のとおりアンケートを実施させていただきますので、ご多忙中とは存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、率直なご意見をご回答くださいますようお願いいたします。

なお、回答いただきました内容につきましては、統計的に処理し、個別の内容を公表することはありません。

記

1. アンケート内容 別紙2のとおり
2. 回答期限 令和3年6月18日(金)
3. 回答方法 <https://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/2021/pages/introduction>（本学医学教育センターのサイトの一番下に回答フォームを設けておりますので、web上で回答いただきますようよろしくお願いいたします。QRコードは次のとおりです。）



担当：山口大学医学部 医学教育センター 沖部
TEL：0836-85-3747
E-mail：mec01@yamaguchi-u.ac.jp

R3 山口大学医学部医学科 ディプロマ・ポリシー (DP)

山口大学医学部医学科は、医学・医療の専門知識と技術を教授し、豊かな人間性を涵養すること、医学・医療の変化、医師の社会的役割の変化への対応能力を育成すること、国際的視野に立って医学の発展及び国際交流に貢献し、国際化に対応できる能力を育成すること、医学・医療の知識や技術の向上に積極的に貢献し、創造的な人材を育成することを理念・目的としています。これらを達成するため、所定の期間在学し、必要単位を修得した上で、次の知識や能力を身に付け、最終試験に合格した学生に「学士（医学）」の学位を授与します。

<知識・理解>

1. 医療基盤力

医学・医療において基盤となる知識を体系的に身に付け、その知識体系を文化・社会等の学際分野と関連付けて理解し、医学・医療の変化に対応し、新規課題に応用できます。

2. 地域・国際対応力

- ・地域の保健・医療・福祉・介護及び行政等との連携を理解し、地域における健康の増進と疾病の予防・治療に貢献できる基本的な考え方を身に付けています。
- ・医療環境や公衆衛生について国際的視野を持ち、人類・医学の歴史・社会・自然に関する知識を広く身に付け、医師の社会的役割の変化や国際化に対応できます。

<態度・技能・志向性>

3. 医療プロフェッショナルリズム

- ・倫理観：教養を高め、豊かな人間性を涵養し、医師としての社会的責任を自覚して、自己の良心と社会の規範に従って行動し、基礎的な医療倫理問題に対処できます。
- ・医師としての職責：多種多様な人間性と生命の尊厳について深い認識を有し、人の命と健康を守る医師としての職責を自覚しています。
- ・患者安全：患者及びその家族の秘密を守り、患者の安全を最優先し、患者中心の立場で考えられます。

4. チーム医療力とコミュニケーション能力

- ・他者と円滑にコミュニケーションを図り、相互尊重のもとに協調・共働してチーム医療ができる。また、目標実現のためにリーダーシップを発揮できます。
- ・医療内容を分かりやすく説明する等、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くことができます。
- ・英語によるコミュニケーション能力を身に付け、情報収集・論述・国際交流ができます。

5. 自己開発力

- ・医学の修学に積極的に取り組み、生涯にわたり自己研鑽を続ける習慣を身に付け、医学・医療の変化や医師の社会的役割の変化に対応できる自己開発力を身に付けています。
- ・ICT (Information & Communication technology) 活用能力を持ちます。モラルに則り多様な情報を収集・分析して適正に活用する情報リテラシー力を身に付け、的確なプレゼンテーションなどに活用できます。

<総合力・創造力>

6. 科学的探究力

医学・医療の知識や技術の向上に貢献できる創造的な意欲を有します。自ら課題を発見・提起して、論理的に思考し、解決への道筋を提案します。成果を文書と口頭で発表できます。

7. 総合的診療能力

統合された知識・技能・態度に基づき、全身を総合的に診療する実践的能力を修得します。良好な医師患者関係を築けるコミュニケーション能力を有し、患者中心のチーム医療を安全に実践できます。
(臨床推論力、基本的診療技能、実践的診療能力、医療安全力が必要)

地域医療実習を行った医学生のディプロマ・ポリシー（DP/卒業時の学修成果目標）修得状況について（アンケート）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、山口大学医学部医学科は、別紙1のとおり、平成29年度にディプロマ・ポリシー（DP/卒業時の学修成果目標）を改めました。所定の期間在学し、必要単位を修得した上で、ディプロマ・ポリシーで定めた知識・能力を身に付け、最終試験に合格した学生に「学士（医学）」の学位を授与しております。また、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材養成のため、特色あるカリキュラムを編成しております。

このたび、貴院で実習を行った医学科6年生における、実習時点でのディプロマ・ポリシーで定めた知識・技能・態度等の到達度を調査し、今後の医学科カリキュラムの改善に活用したいと考えております。

つきましては、下記のとおりアンケートを実施させていただきますので、ご多忙中とは存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、率直なご意見をご回答くださいますようお願いいたします。

なお、回答いただきました内容につきましては、統計的に処理し、個別の内容を公表することはありません。

*必須

問1 地域医療実習でご指導いただきました医学生について、医学科6年生の4月の段階で修得できているレベルとして、以下の項目をご評価ください（複数名実習を受け入れていただいた場合はおよその平均でお答えください）。

*設問の詳細は、別紙1「山口大学医学部医学科ディプロマ・ポリシー（DP）」をご覧ください

1 医療基盤力が身に付いている*

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

2.1 地域対応力が身に付いている*

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

2.2 国際対応力が身に付いている*

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

3.1 倫理観が身に付いている*

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

3.2 医師としての職責を果たしている*

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない



3.3 患者安全力が身に付いている *

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

4 チーム医療力とコミュニケーション能力が身に付いている *

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

5 自己開発力が身に付いている *

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

6 科学的探究力が身に付いている *

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

7 総合的診療能力が身に付いている *

- よくあてはまる
- ある程度あてはまる
- あまりあてはまらない
- 全くあてはまらない
- 分からない

問2 上記項目に関して、特に高く評価できた点や不十分と思われた点があれば、その理由となった経緯（実習中の知識、技能や態度等）も含め、差し支えない範囲で自由にご記入ください。

回答を入力

問3 その他、山口大学の医学教育に対するご意見、ご希望等がありましたら、自由にご記入ください。

回答を入力

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#)・[利用規約](#)・[プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

